

## Implementing Cisco Network Security (210-260)

**試験の内容:** Implementing Cisco Network Security (IINS) 試験 (210-260) は、制限時間 90 分、出題数 60–70 問で実施されます。この試験では、セキュアなネットワーク インフラストラクチャ、セキュリティの中心概念の理解、セキュアなアクセスの管理、VPN 暗号化、ファイアウォール、侵入防御、Web と電子メールのコンテンツ セキュリティ、およびエンドポイント セキュリティに関する受験者の知識をテストします。また、データやデバイスの完全性、機密性、および可用性を維持するためのセキュアなネットワークのインストール、トラブルシューティング、および監視に関するスキルを評価します。さらに、シスコのセキュリティ インフラストラクチャで使用されているテクノロジーに関する能力も査定します。受験者は、受験準備として Implementing Cisco Network Security (IINS) コースを受講できます。

次に、この試験の一般的な出題内容を示します。ただし、試験によっては、ここに示されていない関連分野も出題される場合があります。試験内容をより適切に反映し、明確にするために、次のガイドラインは予告なく変更されることがあります。

- 12%    1.0    **セキュリティの概念**
  - 1.1    一般的なセキュリティ原則
    - 1.1.a    機密性、完全性、および可用性 (CIA) の説明
    - 1.1.b    SIEM テクノロジーの説明
    - 1.1.c    一般的なセキュリティ用語の特定
    - 1.1.d    一般的なネットワーク セキュリティゾーンの特定
  - 1.2    一般的なセキュリティ脅威
    - 1.2.a    一般的なネットワーク攻撃の特定
    - 1.2.b    ソーシャル エンジニアリングの説明
    - 1.2.c    マルウェアの特定
    - 1.2.d    データ損失/漏洩のベクトルの分類
  - 1.3    暗号化の概念
    - 1.3.a    キー交換の説明
    - 1.3.b    ハッシュ アルゴリズムの説明
    - 1.3.c    対称/非対称暗号化の比較対照
    - 1.3.d    デジタル署名、証明書、および PKI の説明
  - 1.4    ネットワークトポロジの説明
    - 1.4.a    キャンパス エリア ネットワーク (CAN)
    - 1.4.b    クラウド、ワイド エリア ネットワーク (WAN)
    - 1.4.c    データセンター
    - 1.4.d    スモール オフィス/ホーム オフィス (SOHO)
    - 1.4.e    仮想環境のネットワーク セキュリティ

- 14% **2.0 セキュアなアクセス**
  - 2.1 セキュアな管理
    - 2.1.a 帯域内と帯域外の比較
    - 2.1.b セキュアなネットワーク管理の設定
    - 2.1.c ACLを使用した SNMP v3 経由のセキュア アクセスの設定と検証
    - 2.1.d NTP のセキュリティの設定と検証
    - 2.1.e ファイル転送での SCP の使用
  - 2.2 AAA の概念
    - 2.2.a RADIUS テクノロジーと TACACS+ テクノロジーの説明
    - 2.2.b TACACS+ を使用したシスコ ルータ上での管理アクセスの設定
    - 2.2.c シスコ ルータでの TACACS+ サーバ接続の検証
    - 2.2.d Active Directory と AAA の統合の説明
    - 2.2.e ACS と ISE を使用した認証と許可の説明
  - 2.3 802.1X 認証
    - 2.3.a 802.1X コンポーネントの機能の特定
  - 2.4 BYOD
    - 2.4.a BYOD アーキテクチャ フレームワークの説明
    - 2.4.b モバイル デバイス管理 (MDM) の機能の説明
- 17% **3.0 VPN**
  - 3.1 VPN の概念
    - 3.1.a IPsec プロトコルとデリバリー モード (IKE、ESP、AH、トンネル モード、トランスポート モード) の説明
    - 3.1.b ヘアピニング、スプリット トンネリング、Always-On、NAT トラバーサル の説明
  - 3.2 リモート アクセス VPN
    - 3.2.a ASDM を使用した基本的なクライアントレス SSL VPN の実装
    - 3.2.b クライアントレス接続の検証
    - 3.2.c ASDM を使用した基本的な AnyConnect SSL VPN の実装
    - 3.2.d AnyConnect 接続の検証
    - 3.2.e エンドポイント ポスチャ アセスメントの特定
  - 3.3 サイト間 VPN
    - 3.3.a シスコ ルータと ASA ファイアウォール上での事前共有キー認証を使用した IPsec サイト間 VPN の実装
    - 3.3.b IPsec サイト間 VPN の検証
- 18% **4.0 セキュアなルーティングとスイッチング**
  - 4.1 シスコ ルータのセキュリティ
    - 4.1.a 複数の特権レベルの設定
    - 4.1.b Cisco IOS ロールベースの CLI アクセスの設定
    - 4.1.c Cisco IOS Resilient Configuration の実装

- 4.2 ルーティング プロトコルの保護
  - 4.2.a OSPF でのルーティング アップデート認証の実装
- 4.3 コントロール プレーンの保護
  - 4.3.a コントロール プレーン ポリシングの機能の説明
- 4.4 一般的なレイヤ 2 攻撃
  - 4.4.a STP 攻撃の説明
  - 4.4.b ARP スプーフィングの説明
  - 4.4.c MAC スプーフィングの説明
  - 4.4.d CAM テーブル (MAC アドレス テーブル) オーバーフローの説明
  - 4.4.e CDP/LLDP 予備調査の説明
  - 4.4.f VLAN ホッピングの説明
  - 4.4.g DHCP スプーフィングの説明
- 4.5 軽減手順
  - 4.5.a DHCP スヌーピングの実装
  - 4.5.b ダイナミック ARP インスペクションの実装
  - 4.5.c ポートセキュリティの実装
  - 4.5.d BPDU ガード、ルート ガード、ループ ガードの説明
  - 4.5.e 軽減手順の検証
- 4.6 VLAN セキュリティ
  - 4.6.a PVLAN のセキュリティの影響の説明
  - 4.6.b ネイティブ VLAN のセキュリティの影響の説明
- 18%** 5.0 シスコファイアウォールテクノロジー
  - 5.1 さまざまなファイアウォール テクノロジーの運用上の長所と短所の説明
    - 5.1.a プロキシ ファイアウォール
    - 5.1.b アプリケーション ファイアウォール
    - 5.1.c パーソナル ファイアウォール
  - 5.2 ステートフル ファイアウォールとステートレス ファイアウォールの比較
    - 5.2.a 運用
    - 5.2.b ステート テーブルの機能
  - 5.3 Cisco ASA 9.x での NAT の実装
    - 5.3.a 静的
    - 5.3.b 動的
    - 5.3.c PAT
    - 5.3.d ポリシー NAT
    - 5.3.e NAT 運用の検証
  - 5.4 ゾーンベース ファイアウォールの実装
    - 5.4.a ゾーン間
    - 5.4.b セルフゾーン

- 5.5 Cisco 適応型セキュリティアプライアンス (ASA) 9.x のファイアウォール機能
  - 5.5.a ASA アクセス管理の設定
  - 5.5.b セキュリティアクセス ポリシーの設定
  - 5.5.c Cisco ASA インターフェイス セキュリティレベルの設定
  - 5.5.d デフォルト Cisco モジュラ ポリシー フレームワーク (MPF) の設定
  - 5.5.e 展開モード (ルーテッド ファイアウォール、トランスペアレント ファイアウォール) の説明
  - 5.5.f 高可用性の実装方法の説明
  - 5.5.g セキュリティ コンテキストの説明
  - 5.5.h ファイアウォール サービスの説明
  
- 9% **6.0 IPS**
  - 6.1 IPS 展開の留意点の説明
    - 6.1.a ネットワークベース IPS とホストベース IPS の比較
    - 6.1.b 展開モード (インライン、プロミスキャス - SPAN、TAP)
    - 6.1.c 配置 (ネットワーク内での IPS の位置付け)
    - 6.1.d false positive、false negative、true positive、true negative
  
  - 6.2 IPS テクノロジーの説明
    - 6.2.a ルール/署名
    - 6.2.b 検出/署名エンジン
    - 6.2.c トリガー アクション/応答 (ドロップ、リセット、ブロック、アラート、モニタ/ログ、回避)
    - 6.2.d ブラックリスト (静的および動的)
  
- 12% **7.0 コンテンツとエンドポイントのセキュリティ**
  - 7.1 電子メール ベースの脅威に対する軽減テクノロジーの説明
    - 7.1.a SPAM フィルタリング、マルウェア対策フィルタリング、DLP、ブラックリスト化、電子メール暗号化
  
  - 7.2 Web ベースの脅威に対する軽減テクノロジーの説明
    - 7.2.a ローカルおよびクラウドベースの Web プロキシ
    - 7.2.b ブラックリスト化、URL フィルタリング、マルウェア スキャン、URL カテゴリ化、Web アプリケーション フィルタリング、TLS/SSL 復号化
  
  - 7.3 エンドポイントの脅威に対する軽減テクノロジーの説明
    - 7.3.a ウイルス対策/マルウェア対策
    - 7.3.b パーソナル ファイアウォール/HIPS
    - 7.3.c ローカル データのハードウェア/ソフトウェア暗号化